

令和3年度各種会計等 決算認定審査

令

和4年9月15日から
21日の4日間にわた

り決算認定特別委員会を開
催し、令和3年度各種会計
などの決算内容を審査しま
した。21日には理事者の出
席を求め質疑、委員間討議
を行い、各種会計並びに公
営企業会計決算は、いづれ

委員 長： みのや 春之 はるゆき 議員
副委員 長： おおにし 大西 いさお 功 議員

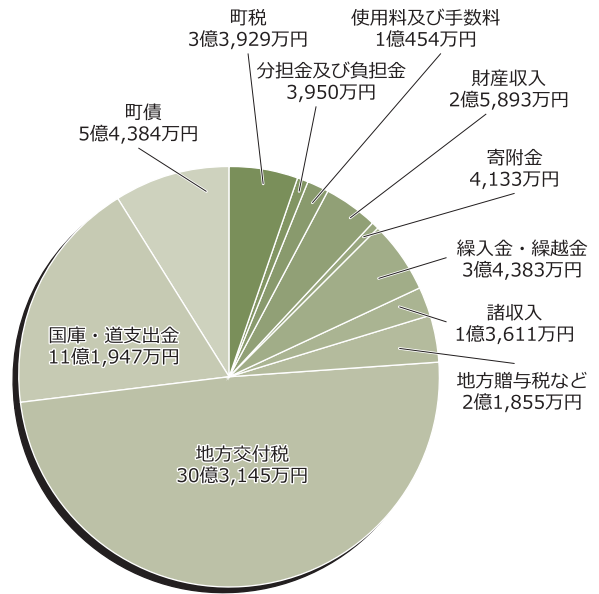
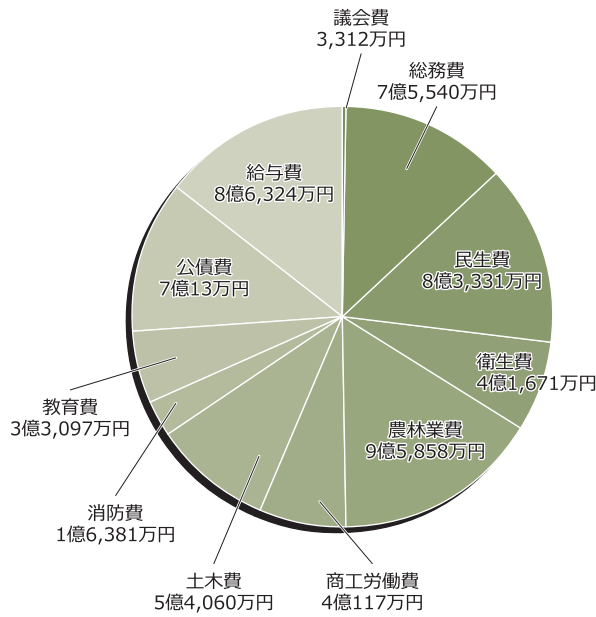
委員会審査：9月15, 16, 20, 21日(4日間)

も認定すべきものと決定し
ました。
決算の概要について、一
般会計は、歳入が61億7,6
84万円となっており、増
加の内訳は地方交付税及び
基金の統廃合によるもので
す。歳出は59億9,704万
円となっており、前年度と
比較して8.4%の増加となっ
ており、内訳は社会的資本
の整備に要する経費である
投資的経費の27%増加が主
な要因です。
財政構造は、経常収支比
率は85%（4年連続減少）、
実質公債費率は6.2%（5年
連続増加）、将来負担比率
は9%（3年連続減少）と
なっています。
基金現在高は3年連続で
増加し、14億5,529万円
となっており、特別会計を
含めた基金現在高は16億8,
233万円となっています。
要因としては、大きな投資
事業が無かったことや、コ
ロナ対策による交付税の増
加、縮小した事業による減
額要素とのバランスによる
ものです。
委員会審査での説明の主
なものは次のとおりです。

歳出総額 59億9,704万円

一般会計

歳入総額 61億7,684万円



基金現在高 14億5,529万円(対前年度比29.4%増) / 地方債残高 59億2,061万円(対前年度比2.1%減)

説明
(総務課) 業務量が増えて
いるが、整理廃止すること
ができない。また人員補充
もできないため大変である。
(政策推進課) 各種事業や
施設管理など幅広く担当し
ており、事業が重なること
により状況である。以前より
業務量が増えている、目的を
絞った仕事をしていく必要
がある。
総合計画、ゼロカーボン
実行計画、中小企業の事業
承継の見直しなどの課題を
積極的に進めていきたい。
(税務住民課) 宅配等事業
は、道総研との共同調査で
「宅配業者の荷物が増加し
ているので事業化の可能性
がある」との報告を受けた
こと、町内スーパーの廃業
により買い物が不便になる
との声があつたことで、事
業検討を開始した。
(保健福祉課) 保険料収納
率の向上の要因は、税務住
民課の担当者の努力に加え、
年金からの徴収がある。
(あけぼの園) 施設内の備
品は耐用年数を大幅に超え